

日本平山山行記録



目的地	日本平山（山田藤一と笠原正雄の還暦記念）	期 日	平成18年10月15日（日）
山人	森庄一、星光男、船津一男、佐々木康男・フサ子、笠原正雄・澄子、山田藤一、中野茂、五十嵐隆		

地点名	(着)～(発)	天候	記 事
与板支所前	午前5:30	晴	集合・出発。笠原、山田車2台で行く。途中、雲に差す朝日が美しい。
早出川ダムP	7:05～7:20	〃	新潟から星が到着していた。3分差。歩き出して20分で山の神通過。
金ヶ谷渡渉	8:35～8:45	〃	飛び石伝いで渡る。但し、一人水に足を突っ込んだ。休む。後から1時間20分も休み無しだったと小言が聞えた。単独2人が追越して行った。
駒の神	9:05		キジ打ち等でバラけた隊を整えて、尾根道の登りに入る。
立ち休み	9:40～9:45	〃	日差しを受けて汗をかく。コース上で休む。
トコヤ	10:10～10:25	〃	五十嵐の靴が底剥がれて3人が遅れて到着。この後も徐々に遅れる。
休む	11:00～11:05	〃	再び隊がバラけてコース上で腰を降ろして待つ。地形図を広げる。
ガンガ	11:25	〃	岩稜ピーク。単独者がガスを使って食事中。ここから降ろされて急登へ。
山頂	11:50～1:10	〃	途中、単独者と夫婦の計3人が降りて来た。山頂は我々だけの貸切りとなる。まずは乾杯。山田がビールを沢山担いで来ていた。ご馳走になる。3人が20分程遅れて到着。フライパンで鮭チャンチャン焼きを作って食べて貰う。2～3人が脚の引き攣りを訴えていた。山田と二人でYHCから左袖にクラブ名が入った赤いTシャツを贈呈して貰う。
トコヤ	2:25	〃	NとF子の下りが早い。それにYが続く。俺はゆっくりと降りる。
駒の神	3:05～3:20	〃	靴の壊れたIとHとFの3人がまだ来ていないが、先に出発する。その後のヘツリ道をどんどん先行するNとF子を途中で呼び止める。
早出川ダムP	4:35	〃	歩行終了。4人が遅れる。Sはすぐに到着したが、3人がおよそ30分遅れて到着。新潟に帰る星と別れの挨拶をして帰路につく。

2年前の中越地震の日、単独でこの山に行った。ダム湖へツリ道での景観とブナ林が素晴らしい山だ。もう一度行きたいここを還暦記念の山とした。山頂に無事帰るとのカエルの石像がある。生れた干支に無事戻ることが出来たことに感謝を込めて、このカエルに報告に行くと言う動機付けもある。集会で発案し、会報に載せてもらったところ、嬉しいことに、沢山の方々が同行してくれた。それも山の大先輩ばかりで、大半がYHC元会長だ。こんな贅沢な山行はめったに無いことであろう。暫く山から遠ざかっていた藤一君と共に歩けたことも嬉しさを倍加させた。



